

数学 第2学年

1. 教科の目標

- (1) 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
 - (2) 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。
 - (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考え方を認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2. 評価の観点とその趣旨

| 観点 | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|----|---|--|---|
| 趣旨 | 文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 | 文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較し読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う | 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考え方を認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。 |

3. 評価の観点と評価方法

| 評価方法 観点 | 一学期 | | | | 二学期 | | | | 三学期 | | | |
|---------------|--------------|----------|---------|------------------|--------------|----------|---------|------------------|--------------|----------|---------|------------------|
| | 定期 考 査 | 授業 観察 | 提出 物 | 小 テ ス ト | 定期 考 査 | 授業 観察 | 提出 物 | 小 テ ス ト | 定期 考 査 | 授業 観察 | 提出 物 | 小 テ ス ト |
| 知識・技能 | ◎ | | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | ◎ |
| 思考・判断・表現 | ◎ | | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | ◎ | ◎ | | ○ | ◎ |
| 主体的に学習に取り組む態度 | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ | ○ | ◎ | ◎ | ○ |

数学 年間評価計画（第2学年）

| 月 | 単元 | 指導内容 | 評価の方法と評価の観点 |
|----|--|--|--|
| 4 | 一章 式の計算式の計算 1 文字式の利用 | <ul style="list-style-type: none"> 多項式の計算 単項式の乗法と除法 | |
| 5 | 2 連立方程式連立方程式とその解き方 | <ul style="list-style-type: none"> 式による説明 等式の変形 | ☆定期考查 「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価の大きな割合を占める。 |
| 6 | 1 連立方程式の利用 2 1次関数 | <ul style="list-style-type: none"> 連立方程式とその解 連立方程式の解き方 いろいろな連立方程式 連立方程式の利用 | ☆授業観察 授業態度や発言等を基に、「主体的に学習に取り組む態度」の観点を中心に評価を行っていく。 |
| 7 | 三章 1次関数 1 1次関数の性質と調べ方 | <ul style="list-style-type: none"> 1次関数 1次関数の値の変化 1次関数のグラフ 1次関数の式を求める方法 | ☆提出物 |
| 9 | 2 2元1次方程式と1次関数 | <ul style="list-style-type: none"> 2元1次方程式のグラフ | 授業のノート、ワークシート、問題集、宿題等の提出状況を基に各観点の評価を行っていく。 |
| 10 | 3 1次関数の利用 4 | <ul style="list-style-type: none"> 連立方程式とグラフ 1次関数とみなすこと 1次関数のグラフの利用 1次関数と図形 | |
| 11 | 四章 平行と合同説明のしくみ 1 平行線と角 2 合同な図形 3 三角形と四角形三角形 | <ul style="list-style-type: none"> 多角形の角の和の説明 平行線と角 合同な図形の性質と表し方 証明のすすめ方 | ☆小テスト 定期考查以外に行われるテストを基に各観点の評価を行っていく。また小テストの結果をふまえた各自の学習をもとに、「主体的に学習に取り組む態度」の評価を行っていく。 |
| 12 | 五章 平行四辺形 1 2 | <ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質 二等辺三角形になるための条件 直角三角形の合同 平行四辺形の性質 平行四辺形になるための条件 特別な平行四辺形 平行線と面積 | 以上の項目を総合的に判断し、各学期、年間の評価を行っていく |
| 1 | 確率 | | |
| 2 | 六章 確率による説明 1 データの比較四分位範囲と箱ひげ図 | <ul style="list-style-type: none"> 同様に確からしいこと いろいろな確率 | |
| 3 | 2 七章 1 | <ul style="list-style-type: none"> 四分位範囲と箱ひげ図 | |